

## 水のめぐりパズル (P23)

### <ねらい>

自分の生活と水とのかかわりや、水の循環システムを理解し、水の大切さを考える。

### <安全面や実施上の注意点>

- ◆ 水が有限であることや、水が循環していること、また、人間もその循環の一部であることに気付くようアドバイスしてください。
- ◆ 上水や下水の処理方法は、地域によって違いがあるので、適切なアドバイスをお願いします。
- ◆ 農業や工場を中心とした水のめぐりなど、生活用水以外について調べてみてもよいでしょう。

## 川にすむ生き物で水質調査をしよう (P25)

### <ねらい>

水の汚れと生き物の関係を通して、川の汚れ具合を調べ、川を汚さない意識をつくりあげることにつなげる。

### <安全面や実施上の注意点>

- ◆ このプログラムは、必ず大人と一緒に実施してください。
- ◆ 川の流れは思った以上に速く、状況が変わりやすいので、流れの速さを確認してから川に入るようしてください。
- ◆ 深さが子供のひざくらいまで、速さは流速30~40cm/秒程度の川で、調査してください。
- ◆ 川底には、ガラスや空き缶などが落ちている場合があり非常に危険なので、絶対に裸足で入らないようにしてください。
- ◆ 川底が急に深くなったり、ぬかるんだり、コケなどで滑ったりする場合があるので、十分注意してください。
- ◆ 事前に下見をしたり、緊急の時の連絡体制や対処方法を確認しておいてください。
- ◆ このプログラムにおける川の汚れの判定方法は、あくまでも目安であり、環境省などが実施する「全国水生生物調査」の判定方法とは異なります。
- ◆ 捕まえた生き物を入れるバットは、ステンレスなどでは見えづらいので、白色のものを使用してください。
- ◆ 「水生生物観察キット」を、北海道環境サポートセンターで貸し出しているので、利用してください。

## 水の節約にチャレンジしよう (P27)

### <ねらい>

いろいろな工夫により水を節約する方法を考え、水を大切にする意識を高める。

### <安全面や実施上の注意点>

- ◆ このプログラムは、少人数（子供だけなど）での取組では効果が現れないことがあるので、家族全員で取り組まれるようご協力をお願いします。
- ◆ 節水によって、水の浄化等の処理に要するエネルギー消費が減ることや、自然への負荷が少なくなることなど、環境に良い影響があることに気付くと、さらによいでしょう。
- ◆ 家の水道メーターの場所が分からぬときは、市役所等の水道担当の部署に確認してください。
- ◆ 水道メーターの設置場所によっては、確認しにくい場合や、危険な場合があるので、そのような場合は、大人が一緒に確認してください。
- ◆ 水道メーターで数値が確認できない場合は、数値の確認期間を、「1週間ごと」から「1か月ごと」に変更し、水道料金の通知書で比較するなど、進め方を工夫してください。
- ◆ 節水アイデアの例

水道の元栓を少し閉めて、水の出る量を少なくする。

水を使い終わったら、蛇口をしっかり閉める。

歯磨き、手洗い、食器洗いなどの時に、水は出しつぱなしにしない。

歯ブラシに歯磨きペーストをつけすぎない。

顔を洗うときは、洗面器に水をためて行う。

みそ汁や牛乳などを流さないよう、食事は残さず食べる。

食器を洗う前に、油汚れを古新聞で拭き取っておく。

お風呂に入る時、シャワーを出しつぱなしにしない。

シャンプーは、流す前に手でしごき取る。

お風呂の水は、洗濯や掃除などに再利用する。

洗濯物は、まとめ洗いする。

トイレの水を何度も流さない。

トイレの水洗レバーの大小をきちんと使い分ける。

洗浄便器の水の勢いを弱くする。

エアコンや除湿器から出る水を、洗車や植木の水やりに使う。

バケツなどに雨をためて、洗車や植木の水やりなどに使う。

洗車の時は、バケツに水をためて使う。

## ペットボトルで米づくり (P29)

### <ねらい>

米づくりを通して、米をつくるためには大量の水を必要とする事を知り、水の大切さを考える。

また、米をつくることの大変さを体感し、食べ物を無駄にしない意識をつくりあげる。

### <安全面や実施上の注意点>

- ◆ 「ペットボトル稲」や「バケツ稲」の観察に取り組んでいる例が、ホームページ上でいろいろと公開されているので、参考にしてください。
- ◆ 種<sup>もみ</sup>は一般には入手しにくいので、地元の農業団体などに入手方法を相談してください。
- ◆ 米の収穫を確実にするためには、適切な時期に適切な施肥をしてください。
- ◆ 一般的な浴槽には、約200㍑の水が入ります。水の使用量換算の目安にしてください。